



フレイル予防体操 第2弾 ～認知症予防編～完成

コロナ禍で、自宅で過ごすことが多くなっている今、
おうちでできる簡単な運動を日常生活に取り入れてみま
せんか？

加古川市社会福祉協議会(以下、「社協」という。)では、
前作もご好評をいただいた「フレイル予防体操」の第2弾
認知症予防編を制作しました。

どうぞご利用ください。

● DVDの貸出 ●

貸出窓口：社協、市高齢者・地域福祉課、
各地域包括支援センター

貸出期間：おおむね2週間程度

● YouTube配信 ●

社協ホームページバナー

こちらから
ご覧いただけます



もくじ

理事長交代のお知らせ、社協会費について……………	2
地域の虹……………	4・5
心配ごと相談終了のお知らせ、善意銀行だより…	7

令和4年度 事業計画、予算 ……………	3
食で育む子どもの輪……………	6
お知らせ……………	8

..... 理事長交代のお知らせ

3月28日付で、社会福祉法人加古川市社会福祉協議会の理事長が交代しましたので、ここにご報告いたします。引き続き地域福祉向上のため、役職員一丸となって取り組んでまいりますので、本会事業へのご理解、ご協力をお願いいたします。



就任にあたって

社会福祉法人
加古川市社会福祉協議会
理事長

田渕 博之

このたび、社会福祉法人 加古川市社会福祉協議会理事長に就任いたしました。

もとより微力ではございますが、福祉目標であります「ささえあい 地域でみまもる まちづくり」の達成に向け、最善を尽くす所存でございます。

また、コロナ禍収束の行き先が不透明な中ではありますが、地域福祉推進計画の着実な推進に傾注してまいります。

何卒、前任者同様に格別のご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



退任にあたって

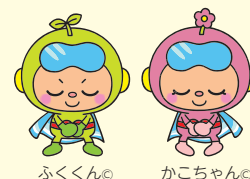
社会福祉法人
加古川市社会福祉協議会
前理事長

山本 勝

このたび、3月28日をもちまして、理事長を退任いたしました。平成29年に就任以来、約5年間に亘り、市民の皆さま方、企業、団体等の皆様方に、多大なご支援ご協力を賜りましたことを、ここに厚くお礼申し上げます。

そして、今後の加古川市社協のますますのご発展をご祈念申し上げますとともに、新理事長への変わらぬご支援等をお願い申しあげ、退任のあいさつとさせていただきます。

加古川市社会福祉協議会の活動は 皆さまの会費によって支えられています



社協は、地域の皆さまに支えられた民間の福祉団体です。住民の皆さまと力を合わせ、誰もが安心して暮らすことのできる福祉のまちづくりを目指し、地域福祉の推進をしていく役割を担っています。行政による法律に基づいた福祉政策とは違い、住民主体の福祉活動を実施するため、社協会費へのご協力をお願いしています。町内会を通じて1世帯300円を集めさせていただいています。

皆さまからの会費は、ふれあいサロン支援事業、ボランティア育成事業、福祉学習などの社協が行う事業のほか、20%は各社協支部(町内会連合会)へ助成し、地域の福祉活動を支える大きな財源となっています。皆さまのご理解とご協力をお願いします。

問合先：加古川市社会福祉協議会 総務係 TEL：079(424)4318(代)

令和4年度事業計画

社協は、福祉目標「ささえあい 地域でみまもる まちづくり」を基に、住み慣れた地域で自分らしく安心して暮らし続けられるまちの実現を目指し、事業を展開してまいります。

1 住民主体のお互いさまの地域づくり

生活支援体制整備事業

- 市内中学校区エリアごとに町内会連合会や地区民生児童委員協議会をはじめ、地域の福祉施設や民間事業所、ボランティアなどが参画する協議体(ささえあい協議会)を設置し、住民主体のささえあいのまちづくりを推進します。

小地域福祉活動の推進

- 単位町内会(自治会)エリアでささえあい会議の開催を呼びかけ、住民が抱える生活課題を町内全体で把握し、それに対応する住民ボランティアの養成を進めます。

2 認め合い、ささえあいの輪が広がる人づくり

ボランティア活動の推進

- ボランティア情報の発信やボランティアの調整、講座や研修会を開催し、活動のきっかけづくりを進めます。

災害時の支援

- 被災者への支援活動をはじめ、大規模災害を想定した災害ボランティアセンターの機能や避難所としての体制を整備します。

学校(学生)との連携

- 学校との連携を通して若い世代のボランティア養成を進めます。

3 誰もが安心して相談できる支援ネットワークづくり

相談支援体制の充実

- 誰もが地域で安心して暮らせるよう、成年後見支援センター事業、日常生活自立支援事業、生活福祉資金貸付事業、障がい者基幹相談支援センター事業、計画相談支援事業を実施します。

重層的な支援の仕組みづくり

- 総合相談、食料品等支援整備事業など、既存の制度では対応できない課題に対して、地域包括支援センターや相談支援事業所など他機関と連携した支援を進めます。

4 社会福祉協議会の機能強化に向けた基盤づくり

組織体制の強化

- 理事会、評議員会をはじめ、各種委員会の機能を強化するとともに、関係機関との連携を図ります。

財源の確保

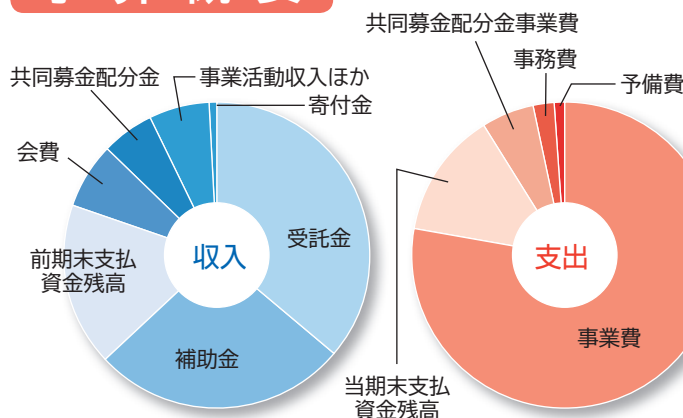
- 会費制度や善意銀行の運営のほか、自主財源の確保に向けた調査研究をします。

広報力の強化による社協活動のPR

- 広報紙の発行や出前講座の開催を通じ、社協の役割、機能を明確にし、身近で信頼される組織を目指します。

令和4年度予算概要

予算概要



収入	・受託金	152,361 千円 (36.3%)
	・補助金	113,231 千円 (27.0%)
	・前期末支払資金残高	72,509 千円 (17.2%)
	・会費	28,489 千円 (6.8%)
	・事業活動収入ほか	26,541 千円 (6.3%)
	・共同募金配分金	23,851 千円 (5.7%)
	・寄付金	3,000 千円 (0.7%)
	収入総額	419,982 千円

支出	・事業費	327,494 千円 (78.0%)
	・当期末支払資金残高	55,216 千円 (13.1%)
	・共同募金配分金事業費	23,851 千円 (5.7%)
	・事務費	9,274 千円 (2.2%)
	・予備費	4,147 千円 (1.0%)
	支出総額	419,982 千円



志方町ささえあい協議会

～地域で見守るまち志方町を目指して～

志方町ささえあい協議会(以下、「協議会」という。)では、誰もが安心して暮らし続けることができる志方町ならではの「ささえあいの地域づくり」を進めています。志方町に暮らす高齢者の生活課題を知るために、70歳以上の人を対象にアンケートを実施しました。その結果「移動を助けてほしい」、「安心して暮らせるまちづくりをしてほしい」という声が多いことがわかりました。

今回はこの2つの声を受けて、協議会で取り組んでいる活動をご紹介します。

移動支援の取り組み

協議会では、アンケート結果の「移動を助けてほしい」という高齢者の声に対して、買い物支援「**買いもん行こカー**」の運行を検討しました。「買いもん行こカー」とは、移動が難しい高齢者を対象に、買い物送迎をするしくみです。令和2年6月から、コープ店舗まで送迎する買い物支援活動をスタートし、このしくみを地域住民へ啓発するため、チラシ配布を実施しました。

今では多くの人々が利用し、「自宅まで送迎してくれるので買い物がとても楽になった」「一緒に利用する人と交流が生まれた」という声が聞かれ、志方町に定着しています。

「買いもん行こカー」のしくみ



自宅



自宅へ迎えに行き、店舗へ



コープで買い物



店舗から自宅へ送ります

志方町ささえあい協議会メンバー

志方町中地区町内会連合会
志方民生児童委員協議会
ボランティアグループあさがお会
兵庫福祉会 ヴィラ播磨
播磨薬剤師会
加古川市社会福祉協議会(事務局)

志方町東地区町内会連合会
志方中学校区ユニット
地域ボランティア
兵庫ヤクルト販売株式会社
地域包括支援センターかこがわ西

志方町西地区町内会連合会
志公大学OB会 三志会
社会福祉法人 鶴林園
生活協同組合コープこうべ
加古川市福祉部

高齢者見守り活動の取り組み

また、「安心して暮らせるまちづくりをしてほしい」というアンケート結果について協議を重ねた結果、次の3つの取り組みが必要ということが見えてきました。

- ① 住民同士の顔の見える関係づくり
- ② ちょっとした気づきの見守りの意識を高くする研修会の実施
- ③ 見守りをする地域住民や組織・団体が連携をとれるネットワークづくり

協議会では、この3つの取り組みを進めるため志方町見守り研修会「木(気)になる輪(わ)」を企画しました。

この研修会は、地域住民や町内会役員、民生委員・児童委員、ボランティア団体をはじめ、地域包括支援センター、加古川市、介護施設や民間企業などの職員が意見交換をしながら、見守りカードゲームを体験します。参加者は、地域住民のちょっとした気づきが高齢者の見守りにつながったという事例を通して、気づきがあった際の相談先や対応方法について共有します。



▲見守り研修会体験の様子



▲見守りカードゲーム

ボランティアグループあさがお会の呼びかけで、見守り研修会「木(気)になる輪(わ)」を実施しました。参加者からは「見守りについてわかりやすく学べた」、「他の人の意見を聞いて、気づくことがたくさんあった」、「志方町で取り組みを広げていきたい」という感想がありました。

見守り研修会で 期待される効果

- 研修会を通じて住民やさまざまな組織・団体との顔の見える関係ができる。
- ちょっとした気づきの重要性がわかり、住民の見守り意識が高くなる。
- 相談・連絡先がわかり、見守りが必要な高齢者の早期発見・対応のきっかけになる。

今後、協議会では、地域住民に“見守りは誰がするではなく地域全体で包み込むようにする”という意識が浸透するよう、さまざまな組織・団体に見守り研修会の開催を呼びかけていきます。

食で育む子どもの輪

～子ども食堂への社協のとりくみ～

子ども食堂は、子どもやその家族にあたためた食事を提供する場として、市内8カ所で実施されています。食事の提供だけでなく、安心して過ごせる子どもの“居場所”としての役割も担っています。社協では加古川市と協働し、子ども食堂同士のネットワークづくりを進めています。



子ども食堂ネットワーク会議

令和2年度から市内の子ども食堂代表者が集う、「子ども食堂ネットワーク会議」を定期的に行っています。

- 目 的**
- ・子ども食堂同士のつながりづくり
 - ・取り組みなどの情報共有

- 課 題**
- ・活動や食材確保が難しい
 - ・ボランティアの高齢化や人材が不足している
 - ・子ども食堂をもっと知ってもらいたい



▲ネットワーク会議の様子



子ども食堂への食材支援

子ども食堂では、食事提供のための食材確保が難しく、ネットワーク会議でも課題になっています。社協では、市内の企業から寄贈されたお米など食材の寄付を、子ども食堂に提供をしています。



子ども食堂でボランティアをしてみませんか？

子ども食堂では、ボランティアを募集しています。食事の提供だけでなく、夏休みや冬休みにはイベントも開催しています。子ども食堂の活動に興味がある人はもちろん、子どもと関わるボランティアを希望される人は、下記問合先まで気軽にお問い合わせください。



▲夏休みイベントの様子

- 内 容**
- ・調理や盛り付けの手伝い
 - ・子どもの話し相手
 - ・学習指導 など



子ども食堂の情報はこちら
(加古川市こども部こども政策課HP)



【問合先】 まちづくり・ボランティア推進係(加古川市ボランティアセンター)
TEL:079(424)4318(代) FAX:079(425)4711
E-mail:kakogawa-vc@kakogawa-shakyo.jp

心配ごと相談事業終了のお知らせ

心配ごと相談事業につきましては、令和4年3月をもって終了しましたのでお知らせします。

これまで、多くの方にご利用いただいておりますが、市内に専門の相談窓口が充実してきたことなどにより相談件数が減少したため、事業を終了させていただくことになりました。

今後も社協では、皆さまが安心して暮らせるように、下記相談窓口で生活や福祉に関する相談に応じていきます。

■ 社協が実施する相談窓口は以下のとおりです ■

内容	窓口	問合先
障害福祉に関する専門的な相談	障がい者基幹相談支援センター	079(424)4358
権利擁護に関する専門的な相談	成年後見支援センター	079(441)8156
ボランティアに関する相談	ボランティアセンター	079(424)4318(代)
その他生活や福祉に関する相談	相談支援係ほか	079(424)4318(代)



6月1日は **ぜん い の 日** **善意の日**

のじぎくを「善意の花」としています。▶



善意の日は、兵庫県と兵庫県社会福祉協議会が中心となり、昭和39年に、地域全体が明るく心豊かになることを願い、住民一人ひとりが善意や善行を進めることができるようにと、毎年6月1日に定めたものです。

善意銀行だより

たくさんの善意をありがとうございました。

●預託状況一覧

(令和4年2月1日～3月31日取り扱い分)〈敬称略〉

氏名・団体名	金額	氏名・団体名	金額	氏名・団体名	金額
ティエルブイ労働組合	20,509	チャッピー	2,000	加古川東高校74回生	26
チャッピー	2,000	M . Y	2,000	匿名	5,000
株式会社ムサシ	1,500,000	来田圭子	1,000,000	匿名	20,000
匿名	10,000	(故) 来田修巳	1,000,000	T . ヒロシ	1,000
匿名	10,000	匿名	1,000	匿名	3,054
U . N	3,000	匿名	1,500	川柳ニューサロン	3,000
加古川西公民館 青年学級「土の子」	2,306	U . N	3,000	匿名	1,500
川柳ニューサロン	3,000	志方民生児童委員協議会	16,500		
匿名	3,000	ひよっこ	4,393		

〈小 計〉(25件) 3,617,788円 〈令和3年度累計〉(150件) 10,106,731円

加古川市
善意♥銀行

お知らせ

助成金のご案内

共同募金配分金事業

地域づくり 応援助成



- 対 象** 市内で福祉活動を目的としたボランティア活動を行う団体、市民活動団体、NPO 法人（社協から他の助成を受けている場合は対象外）
- 助 成 額** 《居 場 所 づ くり コ ー ス》1 団体 上限 3 万円
《見 守 り 活 動 コ ー ス》1 団体 上限 2 万円
《地域ボランティアコース》1 団体 上限 2 万円
- 申請条件**
- ・活動の拠点および活動地域が市内であること
 - ・構成員が5人以上であること
 - ・活動目的・内容がメンバー間に限定されず公益性があること

地域ぐるみの 子育て 支援助成



- 対 象** 市内で活動する子育てひろばや子育てサークル（社協から他の助成を受けている場合は対象外）
- 助 成 額** 1 団体 上限 2 万円
- 申請条件**
- ・市内で子育てに関する活動を実施していること
 - ・構成員が5人以上であること
 - ・公民館、集会所など集いやすい拠点を確保し、おおむね月 1 回以上の活動があること

いずれの助成金も令和4年4月1日～令和5年3月31日の活動が対象です。
申請期間5月2日(月)～6月30日(木)に申請書類を社協へご提出ください。(土日祝除く)
※助成金の詳細については、総合福祉会館・公民館などで配布している申請書類をご覧ください。
社協のホームページからもダウンロードが可能です。

問合先:まちづくり・ボランティア推進係 TEL:079(424)4318 (代) FAX:079(425)4711

福祉のお仕事 相談窓口

兵庫県福祉人材センターは、福祉のお仕事探しを応援します！

- ・福祉ってどんなお仕事があるの？
 - ・資格も経験もないけど福祉の仕事をしてみたい。
 - ・ブランクがあるけれど、もう一度福祉の仕事がしたい。
- などお気軽にご相談ください。



と き 第1・3・5水曜日(祝日除く) 13:00～17:00

と ころ 加古川市総合福祉会館

申込方法 事前の申し込みは不要です。

問 合 先 兵庫県社会福祉協議会 兵庫県福祉人材センター
TEL:078(271)3881 FAX:078(271)3882
E-mail:jinzai@hyogo-wel.or.jp

★就職活動に役立つ
最新情報配信



フクシ♥未来のチカラ WEB

社会福祉法人 加古川市社会福祉協議会
〒675-8577 加古川市加古川町寺家町177-12
(加古川市総合福祉会館内)
TEL: 079(424)4318(代) FAX: 079(425)4711
URL: <http://www.kakogawa-shakyo.jp>
Facebook も更新しています。

■住民基本台帳人口 261,337 人 (男性 128,026 人 / 女性 133,311 人)
■年少人口(14歳まで) 32,469 人 (男性 16,701 人 / 女性 15,768 人)
■高齢者人口(65歳以上) 73,964 人 (男性 32,747 人 / 女性 41,217 人)
■高 齢 化 率 28.30 %
(令和4.3.1 現在)